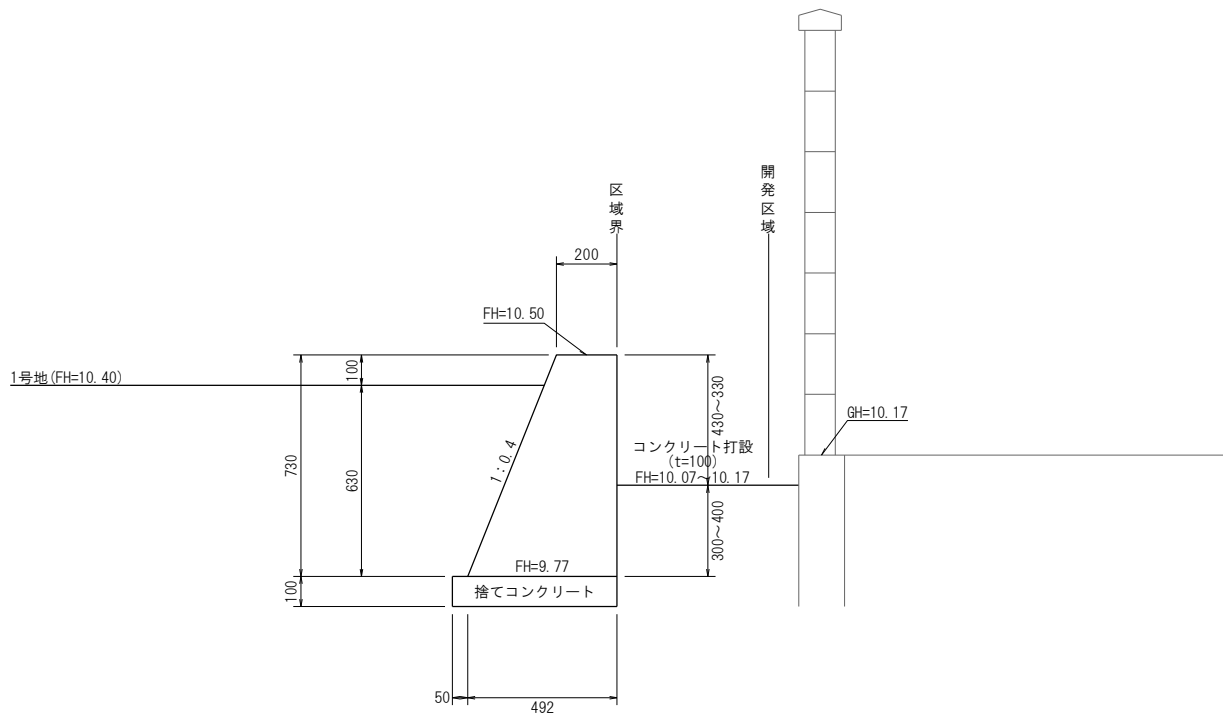


設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

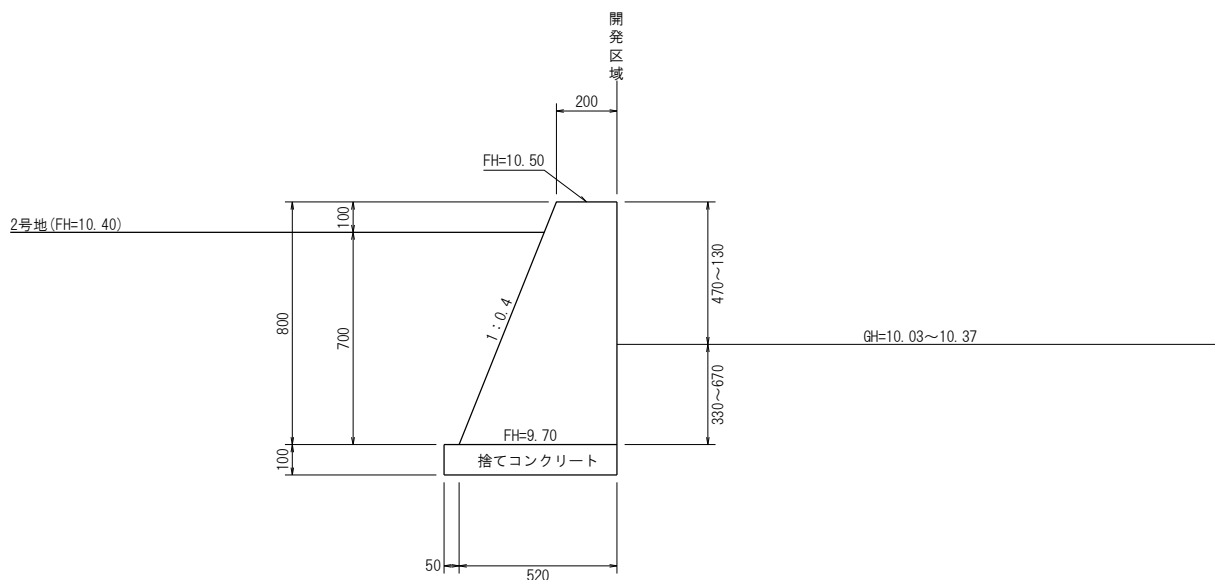
図面名	構造図(重力式擁壁①)
縮尺	1:25
作成年月日	令和6年9月10日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

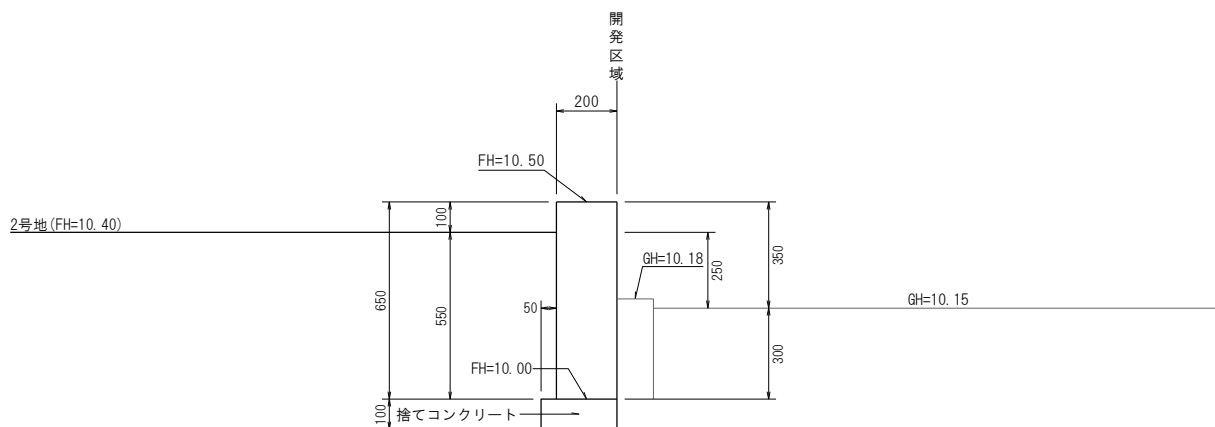
図面名	構造図(重力式擁壁③)
縮尺	1:25
作成年月日	令和6年9月10日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

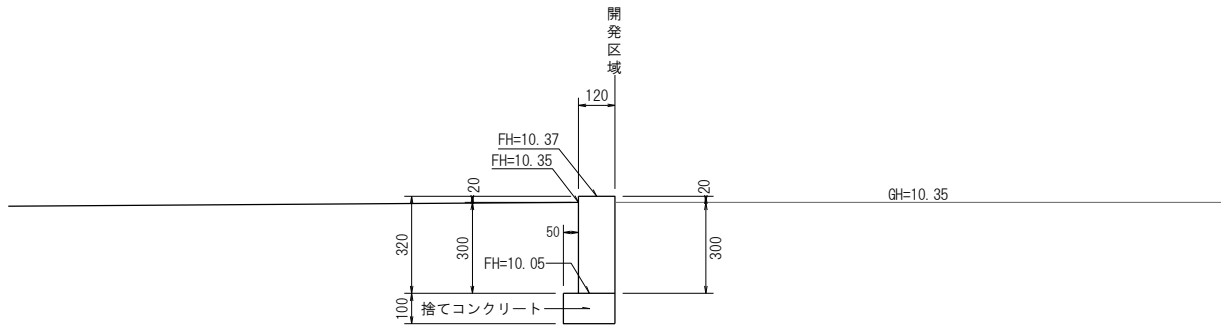
図面名	構造図(重力式擁壁④)
縮尺	1:25
作成年月日	令和6年9月10日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

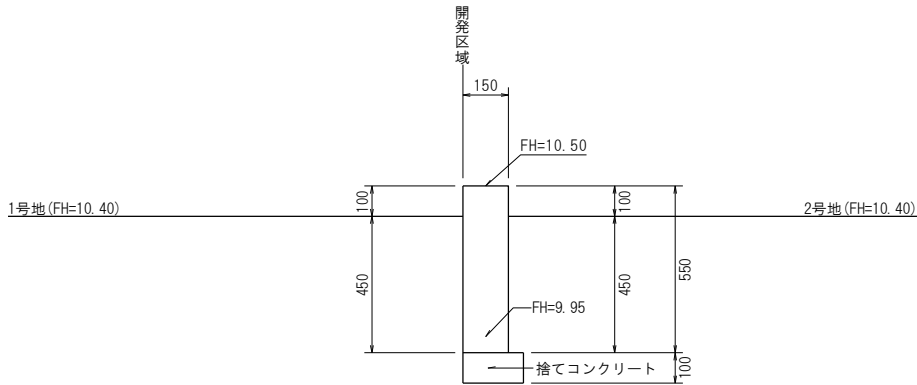
図面名	構造図(境界コンクリート①)
縮尺	1:25
作成年月日	令和6年9月10日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート②)
縮尺	1:25
作成年月日	令和6年9月10日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

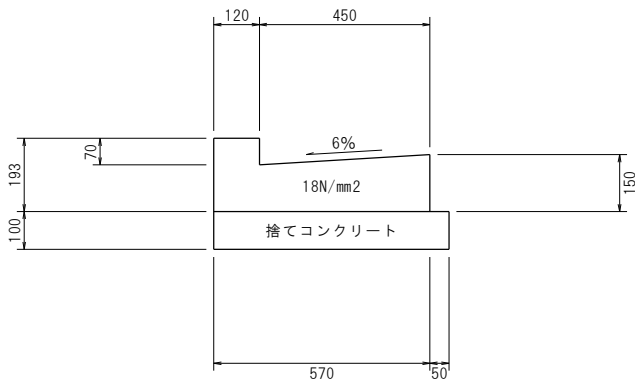


設計条件

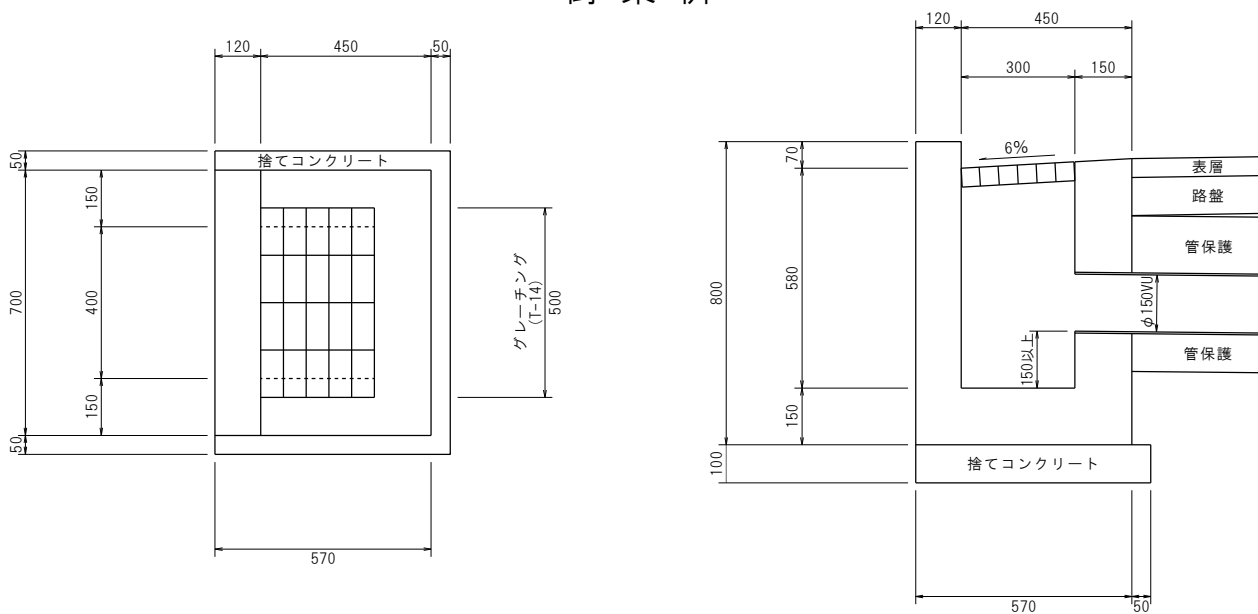
- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(境界コンクリート③)
縮尺	1:25
作成年月日	令和6年9月10日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智

L型側溝



街渠柵



設計条件

- ・土質を礫質土、砂質土としている。(粘性土のがけには使用できない。)
- ・擁壁には施工間隔10m毎に伸縮目地を設ける。
- ・擁壁の伸縮目地厚は10mmを基準とする。
- ・構造物基礎材はコンクリートとする。
- ・擁壁は地盤支持力(100kN/m²)を確認して施行すること。
- ・コンクリート設計基準強度
 - 無筋コンクリート・・・18N/mm²
 - 鉄筋コンクリート・・・24N/mm²
 - (使用鉄筋・・・SD345)
- ・隣接する水路や構造物の均しコンクリート等が新設擁壁に干渉する場合は撤去すること。

図面名	構造図(L型側溝・街渠柵)
縮尺	1 : 20
作成年月日	令和6年9月10日
作成者	高松市川島本町288番地1 土地家屋調査士 横井 智